

関西大学グリークラブ OB 会 EAST 合唱団【練習報告】(全 4 ページ) 記載 : 辻本 (41 期)

【日時】2018 年 9 月 15 日 (土) 18:00~20:30

【場所】 神田さくら館 5 階音楽室神田さくら館 <https://www.city.chiyoda.lg.jp/shisetsu/annai/022.html>

【参加】T1 : 松森、仲村 T2 : 玉山、辻本 B1 : 大山 B2 : 土井、村田、福家 (敬称略 計 8 名)

【内容】

① **Babylon's Falling(Spirituals 大山先輩編曲) : 担当 大山先輩**

★前回メロディの中心になっている T2 パートが不在だったので、再度音の確認と、テンポ感、一部楽譜の譜割りを変更する点などを確認し、最後に通しました。

- ・ 9 小節目のフェルマータはなくし、10 小節目以降のインテンポとします。実質ここから曲の始まり…みたいなイメージ
- ・ 19 小節目~26 小節 1 拍目はスローテンポで、『pure』はクレッシェンドを効かせてください。
- ・ 20 小節目 : 『city』は 1 拍目の裏の四分音符を付点四分音符とし、次の『Babylon's』は 3 拍目の頭から入ってきてください。文字では表現しにくいので練習時に確認ください。(24 小節も同様です)
- ・ 34 小節~40 小節 2 拍目 : Bit Faster の速度指示がありますので、少しテンポアップで行きます。
- ・ 40 小節 2 拍目~最後 : Rit の速度指示がありますので、テンポを落としその前との比較をきかせましょう。
- ・特に B2 と T2 でオクターブで『Babylon's』と 2 拍目の裏で入るところ (10 小節や 12 小節など頻繁にでてきます) は、この食いつきが聴かせどころですので、遅れないようにしましょう。
- ・全体のイメージとして子供の頃に遊んだ? 『アルプス一万尺』や、『ロンドン橋が落ちる』のよう同じ歌詞を続けながらテンポの変化を楽しんでおしゃべりに歌えたらいいですね。

編曲は全く異なりますが、以下のリンク先に男声カルテットの演奏がありましたので、お時間があれば聴いてみてください。

<https://m.youtube.com/watch?v=IwqO8euLl5g>

② **男声合唱組曲『京洛の四季』より『一月』(多田武彦 作曲 みなづきみのり 作詩) : 担当 松森先輩**

★今回から取り組みを開始しました。最後まで音取りを行い、歌詞をつけました。

- ・ 17 小節 : 転調します。(Dm⇒ D) ここは B2 が 16 小節の D から F# をしっかりとらえましょう。
- ・ 33 小節 : 転調します。(D⇒ Dm) ここは B1 が 32 小節の F# から F にしっかり変化してください。
- ・ 49~52 小節 : テナー系にハミングのオブリガードが出てきます。少しややこしそうに見えますが、基本的にはベース系のメロディに寄り添うように書かれていますので、メロディパートを見ながら自分のパートの役割を見つめるとわかりやすいと思います。
- ・ 8 分音符がたくさん並んでいるよく、多田武彦作品に出てくるパターンですが、言葉の頭を意識して少し長めに歌うつもりでちょうどいいと思います (冒頭だと『まささら』の『ま』、『くさき』の『く』など。
- ・多田武彦作品には珍しく 8 小節目、12 小節目、14 小節目など長い音符に 7th コードが使われています。2 度や 9 度でぶつかる関係 (8 小節目 3 拍目の B1 と T2 など) は聞き合いながらひきづられないように注意しましょう。
- ・最近はどうでもありませんが、京都市生まれの作詞者の家は京都市内でも北部寄りの方で、1 月の冷え込みはかなりのものです。(1 月の最低気温は 1~2℃で氷点下になることもしばしば) その空気で自然にできる氷は冷たいというよりじかに触ると痛い感じですね。それとストーブから出る湯気でほてった様子との対比、そこに安堵と安らぎに聞こえる母の声など、子供の頃に誰もが感じた日常を現代の自分がふりかえりながら表現している歌詞だと思います。それを和音の変化と音符で表現できればいいですね。厳しい場面は細かい音符とマイナーコード、母が出てくる場面は長めの音符とメジャーコードで書かれています。

③男声合唱組曲『いつからか野に立って』より『虹』（木下牧子 作曲 高見順 作詩）

★冒頭と同じハーモニーが戻ってくる48小節アウフタクトから最後まで音の確認と歌詞をつけ、最後に復習で冒頭から17小節までを通しました。

・62小節：3拍目の四分音符に『てん』と歌詞が割り付けてあって、一旦いまの段階では8分音符2つにわかれてるイメージで『てん』とはめていただければ結構です。ただ、最終的には『天』という言葉ですので、『て』を長めに歌うような感じになります。

・63～64小節：曲の一番最後にあたりますが、音符1個ずつ和音が変わって行きます。ここは最後の聴かせどころですので、ぜひ決めたいところですが、

『か』はC6（下3パートでCコードをつくり、軽くT1のAが聞こえる）

『ざ』はEm（B1の第3音のGが高くなりすぎない）

『る』はF7（下3パートでFコードをつくり、に軽くT1のE♭が聞こえる）

『のだ』はG9（但しB1のAはオクターブ下にあるテンションコードなので、軽かつクリアに聞こえる。他3パートでGコード）と、最後の作詩者の思いや悲しみが（もしかすれば本人自身の肉体も意味する）昇華して天につながる場面をクリアに表現したいところです。虹の七色の輝きが融合していくようなイメージでしょうか。

・次回は中間部をやり、通したいと思います。以上

【次回練習日】

2018年9月22日(土)13:30～17:00 国立オリンピック記念青少年センターカルチャー棟 31

<https://nyc.niye.go.jp/category/access/>

【楽譜】一応下記のもの全て用意だけお願いします。

- ① Listen to the Lambs (Spirituals より)
- ② Dear Heart (H.Mancini 作曲 J.Livingston 作詞)
- ③ Joy To The World (F.Hendel 作曲)
- ④ No body knows the trouble I've seen(Spirituals)
- ⑤ Babylon's Falling(Spirituals)
- ⑥ In that new Jerusalem(Spirituals)
- ⑦ 一月 (多田武彦作曲)
- ⑧ 雨の日にみる (多田武彦作曲)
- ⑨ Going Home (A.Dovrak 作曲)
- ⑩ Regina Coeli (グレゴリオ聖歌)
- ⑪ Ave Regina coelorum (V.misukinis 作曲)
- ⑫ Sydameni Laulu (J.Sibelius 作曲)
- ⑬ Limu Limu Lima(スウェーデン古歌 S.Soderberg 編曲)
- ⑭ さくら (松下耕編曲)
- ⑮ Memory (ミュージカルCats より)
- ⑯ ロマンチストの豚 (木下牧子作曲)
- ⑰ 虹 (木下牧子作曲)

※⑥と⑧は9月15日(土)に初めて配布したものです。

【その他】

次回ファミリーコンサートにつきまして、2019年3月17日(土)もしくは24日(土)を予定しています。

【上記以後の練習日程予定】※会場はさくら館の抽選状況によっては変更になる場合があります。

国立オリンピック記念青少年センターアクセス：<https://nyc.niye.go.jp/category/access/>

神田さくら館アクセス：<https://www.city.chiyoda.lg.jp/shisetsu/annai/022.html>

2018年9月29日(土)18:00～20:30 :オリセン 35

2018年10月13日(土)13:30～17:00

2018年10月20日(土)18:00～20:30

2018年11月14日(水)18:30～20:30 :オリセン 10

2018年12月08日(土)13:30～17:00 :オリセン 23

2018年12月15日(土)18:00～20:30 :オリセン 35

以上です。